

全ての議案を承認 新たな1年に向けて団結を！ 第45回 東洋交通労働組合定期大会(1)



2018年10月14日(日) 10時〜北赤羽区民センターにおいて『第45回東洋交通労働組合定期大会』が開催されました。

議長には石井貴也氏、書記には内田幸氏が選任され、出席者58名、当日無届欠席9名、委任状390通、定数の3分の2以上により、大会が成立していることが宣言されました。

菊池執行委員長の挨拶

日頃より組合活動へのご理解、ご協力に感謝を申し上げます。

先日の西日本豪雨・大阪北部地震へのカンパにご協力頂きありがとうございます。続けて起きた大型台風や北海道地震で被災された方々には心からお見舞いと、亡くなられた方々、そのご家族へお悔やみを申し上げるとともに、組合員の皆様には引き続きご支援のご協力をお願いします。

職場環境について

この1年を通じて春闘では「無線配車時の空転補償」「解決一時金増額」を勝ち取ることができました。賃金検討委員会を設けて協議をする予定でしたが、5月16日より新しい責任者が着任したことで、またゼロからスタートせざるを得ないこととなりました。責任者が変わり、日曜出勤の促進や配車など、今までと環境が変わり、多くの退職者が出たことは事実。長年東洋交通に務めた仲間を失うのは残念でなりません。この状況は、労働者が改めて『自分に課せられている義務』と、『与えられた権利』を見つめ直す良い機会です。労働者の権利を蔑ろにするような案件があれば、すぐに申し入れをしますが、個別に行われていくことは組合に報告がないとわかりません。どうか、短気を起こして退職という流れにせず、まずは組合に経過の報告をお願いします。東洋交通は日交資本なので、今後も責任者・職員の転籍・出向があると思いますが、誰が来ても「何故、自分は東洋交通で働くことを選んだのか？」これだけは忘れないで頂きたいと思えます。

【情勢について】

「ライドシェア・白タク合法化阻止」の署名活動や宣伝行動に今期も多大な協力を頂いたことに感謝します。状況は一昨年にも増して大変厳しい状況です。政府のシェアリングエコノミー検討会議では規制のサンドボックス制度を積極的に運用し、白タク・ライドシェア解禁に向けての動きが大きくなっています。また、Uberや滴滴は日本のタクシース事業者と業務提携を始め「日本ではタクシースの配車しづらい」と言っています。その一方でUber・滴滴の株主であるソフトバンクの孫会長は「ライドシェアを禁止している日本は馬鹿な国」と発言をされており、どこに向かっているかは明らかです。

白タク・ライドシェアを何としても参入させない、法律を壊させない運動をこれからも強化してまいりますので、皆さんは現場で利用者から今まで以上に支持をされる営業をしていただくようお願いいたします。

今後も東洋交通労働組合は皆さんの労働環境・労働条件を守り、この業界を守るために全力を尽くします。共に闘いましょう！

来賓のご挨拶



全自交東京地連 溝上泰史執行委員長

来賓には、上部団体である全自交東京地連の溝上泰史委員長、後藤修副委員長、日交赤羽支部より須藤利博支部長がお越し下さいました。

溝上委員長は自然災害に対する東洋交通労働組合の協力支援に感謝し「タクシース業界は問題が山積しているが、産別としてのふさわしい労働条件を獲得し、全自交運動の先頭に立つてほしい。ライドシェアに立ち向かうためには品質を向上させ、選ばれるタクシースとなることが重要だ」と述べました。来賓の方々からはそれぞれの立場でのご挨拶を頂き、「共に頑張ろう！」と激励して下さいました。



全自交東京地連 溝上泰史執行委員長



ライオン交通労働組合 大松智治執行委員長



日交赤羽支部 須藤利博支部長



活動報告書・会計報告書・議案書に目を通し真剣に活動方針を審議する組合員の皆さん

「2018年度 活動報告」
「2018年度 会計報告」
質疑なし 満場一致で承認



第1号議案 「2019年度 活動方針(案)」

- 1、「白タク合法化阻止」を始めとする制度・政策要求実現の闘い
- 2、東洋交通における賃金労働条件の改善の要求と闘い
- 3、組織強化・拡大の闘い
- 4、教宣活動について
- 5、法対活動について
- 6、安全マネジメント活動への取り組み
- 7、文体活動について
- 8、カンパ活動について

福島書記長より「2019年度運動方針案」提案されました。今期も白タク・ライドシェア阻止の運動を強化するとともに、「市民会議」や自然災害におけるカンパに組合として積極的に取り組んでいくこと、単組では賃金・労働条件・労働環境の改善に向けて全力で闘っていくことを方針とし、満場一致で承認されました。

第2号議案 「規約・規定の変更(案)」

文体活動における規約の見直しを行い、規約に新たに明記する項目、クラブとしての責任を果たすことを目的とした追加項目が提案されました。質疑はなく、満場一致で承認されました。

(裏面に続く)

第3号議案 『特別功労者表彰』について

菊池執行委員長より、来年の46回定期大会において退任となる福島書記長に『特別功労者表彰』を行う事が提案されました。福島書記長は東洋交通に入社してから38年、組合活動には35年以上貢献してきました。その功労を称えて特別に表彰を行うという提案に対し、満場一致で承認されました。



第4号議案

「2019年度 予算案」

菊池財政部長より、「2019年度一般会計予算(案)」、「2019年度 特別会計予算(案)」が提案され、質疑はなく満場一致で承認されました。

その他 「質疑応答」

● 共済組合の財政状況で今後家族慰安会の参加費を検討しているとのことだが、デイズニールランド以外の所になれば参加費はかからないのでは？ (林田氏)
 (執行部) 昨年から東京ドームシティも選択できるようにになりました。こちらは参加費の負担はありません。以前はバスを貸し切ってマザー牧場に行くという企画もありましたが、あまり参加者が集まりませんでした。TDRは組合員さんからの要望なので続けていきたいと考えています。年々入場料も上がり、消費税の増税もあるので来年度はTDRに参加を希望する場合は参加費を負担して頂くということを検討しています。



● TDRの参加は同居の家族のみとなっているが、他に参加する分を団体割引で一緒に購入して欲しい。(斉藤氏)

(執行部) すでにそれは行っています。申し込みの際に追加で購入する分を申請して下さい。料金は当日までの精算となります。



【定年功労者表彰】

野村朗氏(2466)に記念品と賞状が手渡されました

クラブ名	参加人数(人)	金額(円)
野球部	36	54,000
釣り部	42	63,000
ゴルフ部	42	63,000
ボウリング部	59	88,500
フットサル部	58	87,000
ソフトボール部	80	120,000
サイクリング部	23	34,500

【クラブポイント授与】

明番集会や組合行事の参加などによるポイントが発表され、各クラブの代表者にポイントが手渡されました。



【大会運営委員の皆さん】

左から岡田氏・黛氏・上田氏・藤田氏・斉藤執行委員
 会場の設営・出欠確認 お疲れさまでした



『白タク合法化を阻止し、
 更なる賃金・労働条件の
 向上を目指して
 団結ガンバリ！』